

冬期におけるトレーラのブレーキ引き摺りによる火災にご注意ください

(今年もお忘れなく！)

ブレーキ機器が凍結すると非常に危険な状態になります。

凍結を防止するためにエア・タンクの水抜きを励行すると共に、特に冬期に入る前にブレーキ機器の点検整備を行い、ブレーキ用エアに含まれている水分の除去を、今年もお忘れなく実施下さい。

- ・ リレー・エマージェンシー・バルブ内に水分があると、冬期に水分が凍結し、当該バルブ内のピストンが固着することにより、ブレーキが作動し続け、ブレーキの引き摺りが発生し、最悪は火災に至ることがあります。

【冬期のトレーラ火災の未然防止に関するお願い事項】

1. 冬期における下記ブレーキ機器の点検整備の実施
 - (1) エア・タンク内の水分の有無の点検及び除去 ※
 - ※エア・タンク内に疑水がないことの確認は法定点検項目です
 - (2) エア・ドライヤの点検整備（乾燥剤やフィルターなどの定期交換等）
 - (3) リレー・エマージェンシー・バルブ内の水分の有無の点検及び除去
2. その他、トレーラの整備要領等に従って点検整備を実施下さい

なお、ブレーキ機器の点検整備は、専門のサービス工場（認証工場）で受けて下さい。

トレーラをご利用のお客様におかれましては、気温が低下する冬期を迎えるにあたり、ご一読いただきますようお願い致します。

詳しくはこちら（一般社団法人 日本自動車車体工業会のページへリンクしています）

<http://www.jabia.or.jp/use/index.php> 「ユーザーの皆様へ」

<http://www.jabia.or.jp/userfiles/relayvalve.pdf> 【トレーラのブレーキ・バルブ凍結による車両火災に注意】